

はじめに

入梅の候、みなさまいかがお過ごしですか。この時期、研究所から見える西側広場は、ヤマボウシの花がさわやかです。この時期が過ぎると、冬の山茶花まで白い花は途切れます。(夏は、福岡市の花「芙蓉」が見られますよ。)3月になると、白木蓮やコブシ、そのあとはつつじ、4月下旬になると珍しいヒトツバタゴ(ナンジャモンジャ)など、次々と白い花の咲く美しい空間です。是非注目してみてください。

お知らせ

平成23年度市民研究員、ただ今募集中!

今年度は東日本大震災の被災者に対する地域の温かい支援と、その対極にある無縁社会の広がりを考えようと『互いに助け合い、共生するまちづくり』というテーマで募集しています。皆様ふるってご応募ください。5月31日締め切りです!

今月のおすすめ

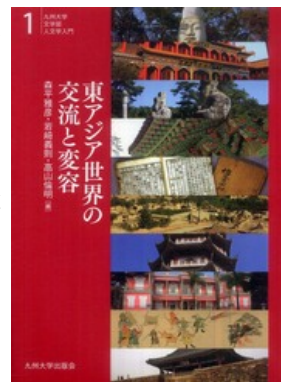
『九州大学文学部人文学入門1 東アジア世界の交流と変容』

森平雅彦・岩崎義則・高山倫明 [編] A5判・並製・229頁

定価2,000円(税別) 2011年4月15日発行 ISBN978-4-7985-0047-8

九州大学文学部の教授陣によるテキストシリーズ第1弾。東アジア、生と死、コミュニケーションと共同体、フィロロジーと、今後テーマを変えて続刊予定(全4巻)。

本書では、東アジアの社会と文化の成り立ちを分かりやすく解説する。そこでは「交流と変容」を共通のキーワードとして、歴史学・考古学・地理学・文学・美術史・哲学史・言語学など様々な観点から、多様なトピックスをとりあげる。これを通じて、東アジア各地の社会と文化の多様性が、不断の相互交流を通じて歴史的に形成されてきたものであり、いまなお変容し続けていることが示される。複雑な東アジア情勢の過去と現在を理解し、そして未来を見通すには、そうした社会と文化の流動性と多様性を柔軟に感じとる感性と、多角的に物事を考える知性とが求められる。本書はそうした東アジア理解の多様な「のぞき窓」を提供する手引き書である。



目次(執筆者の所属はいずれも九州大学文学部)

東アジア—この多様な世界へのいざない—	森平雅彦
第I部 地域性から考える—自己/他者認識の原基—	
1 東アジア地域社会の形成と古代国家の誕生	宮本一夫
2 漢唐間の中国と日本—日本文明の特質との関連から見た—	川本芳昭
3 朝鮮古代(新羅)の「近中華」意識の形成	濱田耕策
4 朝鮮中世の国家姿勢と対外関係	森平雅彦
第II部 ヒトのつながりから考える—越境するネットワーク—	
5 日本中世に居住した外国人	佐伯弘次
6 ルーベンスの描いた朝鮮人—十六・十七世紀における東アジア人のディアスポラ—	中島楽章
7 初期コミンテルンと東アジア—もう一つの日本共産党創立史—	山内昭人
8 国境地域における交流と変容—対馬を事例に—	高木彰彦
第III部 モノから考える—移動する文物—	
9 近世の中国・朝鮮・日本に伝播した『孔子聖蹟図』	竹村則行
10 大名蔵書の中の国際交流—平戸藩楽歳堂の蔵書目録から—	岩崎義則
11 高麗仏画研究から学ぶこと	井手誠之輔
第IV部 コトバから考える—交錯する言語—	
12 日本における『説文解字』	南澤良彦
13 漢字で日本語を書く—万葉仮名の世界—	高山倫明
14 満洲語—話しことば・書きことばとその使い手—	久保智之

*財団法人九州大学出版会 事務局 編集部 尾石理恵氏から本と一っしょに情報提供いただきました。

*ご希望の資料がございましたら ご連絡下さい。TEL:092-733-5707 FAX:092-733-5680 E-mail:library@urc.or.jp

その他の資料につきましては当研究所ホームページ内 (<http://www.urc.or.jp/>) の蔵書検索をご利用下さい。

* 利用案内/場所:福岡市役所北別館6F 開室:月曜日~金曜日 10:00~17:00*月末業務日はお休みです。

貸出:1人5冊まで 2週間以内(貸出には身分証明書が必要です。)

5月31日火曜日は休室です。

*福岡市役所1階の情報フラザで本が返せます。専用の返却ポストに入れてください。平日はもちろん、土・日・祝日も朝9時から夜8時までOK!